

2025.7.27
山形新聞

新

聞

(第三種郵便物認可)

医療DX、重要性学ぶ 酒田 講演とパネル討論通し

「地域医療を考える会」
が26日、酒田市の日本海総合病院を会場にオンラインを併用して開かれた。地域の医療介護分野の連携と充



医療DXの重要性などに理解を深めた「地域医療を考える会」＝酒田市・日本海総合病院

実に向けた医療DX（デジタルトランスフォーメーション）による情報共有の重要性や、医療現場への人工知能（AI）導入事例に理

解を深めた。

基調講演とパネル討論で

は、県・酒田市病院機構の島貫隆夫理事長が地域で適切な医薬品の処方指針を示す「地域フォーミュラリ」といった日本海ヘルスケア

ネットの取り組みや、患者の診療情報を介護事業所などと共有する「ちようかいネット」を説明した。座長を務めた元県総務部長で財務省大臣官房秘書課の小林

剛也財務官室長は「医療や介護は『准公共サービス』。さまざまな分野が一緒に考え、支えていかなければならない」と語った。

山形大医学部は拡張現実（AR）を使った硬膜外麻酔やAIによる神経疾患が

ある歩行の判別の事例を報告した。

山大医学部寄付講座「地域医療・AIデザイン研究

講座」が主催し、県内外の医療、行政、金融機関の関係者約100人が聴講した。（鈴木悟）